

第2回能代市総合計画市民協働会議

日 時 平成23年8月4日（木）

午後7時

場 所 能代山本広域交流センター

報 告 概 要

各班の発表者からの報告は、概ね次のとおりでした。

【A班】

1（1）コミュニティで支え合う特色ある地域づくり

最初に現状と課題の検討を行ったが、ボランティア団体の連携が弱いという課題があったが、これについてはある程度進んできているという現状認識から、課題を一つ消すことができた。

【B班】

1（5）子どもも大人も心と体の健康づくり

指標の推移から、依然としてがん死亡率や自殺者数が高いということから、食事面や運動習慣等の話が出たが、どう改善していくかということが今後の検討課題である。

【C班】

テーマとなっている3つの政策分野全てについて、一通り網羅したが、ポストイットを貼るというところはなかなかできなかった。

1（8）ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術

檜山地域について、崇徳館ができたことによるまちづくりや歴史ガイド等、現在どんな状況にあるのか、話し合いを行った。また、能代芸術文化協会の現状等について話を伺った。

1（9）だれもが気軽に楽しめるスポーツ

配付資料やスポーツ指導の経験者からの話を参考に、話し合いをした。各学校でのスポーツクラブ等に関して、時間等の制約で思い通りできないなど、指導者の環境がよくないと感じた。また、資格がなくても地域の人が指導できるなど、もっと柔軟な対応が必要と感じた。

1（10）認め合い支え合う社会づくり

日本語指導ボランティアの現状を確認し、人数不足や活動時間などで大変な状況がわかったほか、地域との交流を深めていくことが大切、といった話があった。

【D班】

今回は2（4）「山・川を生かす林業・木材産業・水産業」の政策分野だけを進め、検討の流れや手法について確認を行った。次回からはこれを参考に、どんどん進めることができると考えている。

【E班】

前回（21年度）の検討過程の資料を参考に、2（6）「豊かな自然とその恵みを活かす観光」と2（7）「自然と共生し地域で支える環境保全」を中心に協議を行った。前回資料等に目を通しながら、新たな課題や問題等について指摘事項があり、今後の方向性が見えてきた。

【F班】

今回は3（1）「安全な暮らしを守る防災・防犯体制」や3（2）「機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク」について話し合いを行った。

防犯・防災意識が低く参加人数が減少しているという課題について、行政による津波ハザードマップの早期作成の見直しや、情報収集伝達、停電時の対応が必要。また、避難場所にラジオや発発等を充実させて欲しいとの意見があった。

また、運転マナーの低下や高齢者交通死亡事故の増加について、高齢者の交通意識の向上のために、交通安全母の会や婦人会による安全教室の開催や、高齢者の免許返上について意見があった。

【G班】

3（5）安心でき健康を保てる医療体制

模造紙の右側「めざす姿や状態、指標の推移」から検討を始めた。

身近にかかりつけ医がいて、気軽に相談でき、必要なときに必要なサービスや高度な医療を受けられるためには、現状はどうか、誰がどうすればめざす姿に近づけられるのか、達成できるのかということを中心に話し合いを行った。